

選定に必要な資料

(種目名 家庭)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<p>・調理や製作のポイントが「基礎技能」にまとめられており, 必ず身につけたい技能を確実に習得できるよう工夫されている。また, 爪となる色帯を施し, 必要な時に検索しやすいよう配慮されている。(p124, 125)</p> <p>・課題を解決する筋道が明記されており, 「生活の課題と実践」の進め方と統一されているため, 考える力と実践する力を育てるのに効果的である。</p>	<p>・内容BCADの順に構成されており, 「自立と共生」を目指した学習を行うのに適した構成になっている。</p> <p>・「生活の課題と実践」は巻末にまとめて掲載されており, 生徒の実態に応じて選択できるように工夫されている。(p251-261)</p> <p>・各編の「学習のまとめ」では, 自己評価と記述による振り返りができ, 実生活への活用が図られるよう工夫されている。(p94, 95)</p>	<p>・各編の導入で「この編で学ぶこと」, 各節のはじめに「目標」を明記し, 見通しや関心をもって学習できるよう工夫されている。(p20-23)</p> <p>・調理実習例が豊富で鮮明な写真で紹介されている。手順がすべて6段階の横の流れで掲載されており, 関心や意欲を高めるよう工夫されている。(p60, 61)</p>	<p>・家庭分野の学習でよく使われる用語が「言葉のページ」に集約・解説されており, 用語の習得を図る配慮がされている。(p270, 271)</p> <p>・「生活の課題と実践」では, 進め方, 課題の決め方, まとめと発表の仕方等について詳しく説明されており課題解決学習を支援する工夫がなされている。(p251-261)</p>	<p>・「発展」と明記され弁当作りや人間の育ちの始まりなどが取り上げられ, 興味・関心を引くよう工夫されている。(p82, 220)</p> <p>・各節のまとめの活動に「生活に生かそう」が設けられ, 学習を家庭での実践へ促すよう工夫されている。(p31, 119)</p>	<p>・デジタルコンテンツの利用マークが明記されており授業で活用できるよう工夫されている。(p54)</p> <p>・左利きの用具の使い方の写真が掲載されている。(p53, 124)</p>	<p>・AB判で図表や写真イラストが大きく数も多く, 全体の配色や色合いが工夫され生徒の関心・意欲が高められるよう工夫されている。</p> <p>・生活の自立に必要な基礎的・基本的な内容に重点がおかれ, 課題解決に向けた学習過程や手立てが示されているという点で優れている。</p>
C 教育図書	<p>・生徒同士が学び合い, 思考を深めることができるよう, グループやクラスで話し合ったり一緒に考えたりできるワークが工夫されている。(p230)</p> <p>・全体的に内容が豊富で, 知識の定着を図る工夫がされているが, 情報量が過重であり, 生徒の発達段階に合うよう改善が望まれる。(p80-82, 136, 137)</p>	<p>・内容ABCDの順に構成され, 各内容の最後に「生活の課題と実践」が掲載されており, 習得した基礎的・基本的な内容を関連付けて学習できるよう配慮されている。(p2, 3)</p> <p>・各節に「学習目標」「キーワードチェック」, 各章に「学習の振り返り」が設けられており, 基礎的・基本的な事項が分かりやすい構成になっている。(p74, 142, 143)</p>	<p>・各章のはじめに, 学習内容につながる自立度チェックやクイズ, 写真が効果的に取り入れられ, 関心・意欲を高められるよう工夫されている。(p68, 69)</p> <p>・各節の導入「Q」は中学生の視点で題材が選択されており, 資料が紙面の上半分に配置され, 下半分の本文で解説するレイアウトが固定されており, 見やすく読みやすいよう工夫されている。(p166, 167, 241)</p>	<p>・調理実習題材が, 主食・主菜・副菜・汁物に分類して掲載され, 組み合わせで献立をたてることができるよう工夫されている。(p116-131)</p> <p>・栄養や献立の学習を調理実習と関連付けられるように, 6つの基礎食品群のマークを付けて活用できるよう工夫している。(p118)</p>	<p>・和服の種類や着方について詳しく取りあげられており, 主体的に学習を進められる内容となっている。(p181-183)</p> <p>・「調べよう」「やってみよう」「考えよう」と明記され, 「発展」としての内容が盛り込まれている。(p9, 180)</p>	<p>・開いたまま置いて見られる製本で製作や調理などの実習時にも活用しやすく工夫している。(p118, 119, 194, 195)</p>	<p>・導入, 図表, 本文などのレイアウトが固定され, 学習の流れがよく分かるように工夫されている。</p> <p>・自立度チェックやクイズなどで導入を工夫し, 興味・関心をもって学習を進められるとともに, 学習の振り返りにより基礎的・基本的な内容の定着を重視した構成になっている。</p>

選定に必要な資料

(種目名 家庭)

No. 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 展覧的学習, 自学自習についての工夫		(6) その他
D 開隆堂出版	<p>・写真や図表, 本文が精選されて分かりやすく, 実物大の食品や調理の手順を示す写真などが掲載されており, 基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫がなされている (p75-77, 104)</p> <p>・「言語活動の充実のために」が設けられており, 具体例が明記され, 思考力, 判断力, 表現力を身につけるための工夫がなされている。(p262-263)</p>	<p>・内容A B C Dの順に構成され, 「生活の課題と実践」は巻末にまとめて掲載されており, 課題例も多く, 生徒の実態に応じて選択できるよう工夫されている。(p246-257)</p> <p>・小項目ごとの「ふり返り」や各章の「学習のまとめ」においても「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」が設けられており, 自己評価や生活への活用ができるよう工夫されている。(p19, 59)</p>	<p>・中学生にとって身近な事例を取りあげ, 具体的な解決方法を示し興味・関心をもって学習できるよう工夫されている。(p226-227)</p> <p>・折り込みを使って, 食品と栄養素の関係・食品の概量と食品群別摂取量のめやすを一目で確認できる配置にし系統立てて学習できるよう工夫がされている。(p72-74)</p>	<p>・「持続可能な社会」に重点をおき, 人と環境の視点から捉え, 各章の最後に配置することで生活と関連づけて考えられるよう工夫されている。(p6, 7, 136-139, 240-244)</p> <p>・実験・観察の方法や結果が写真で示してあり, 科学的な視点への配慮がなされている。(p103, 183)</p>	<p>・「発展」と明記された食品に含まれる成分や豊かな衣生活・住生活の実現のための事例などが取り上げられ, 興味・関心を引くよう工夫されている。(p70-71, p208-209)</p> <p>・幼児と遊ぶおもちゃ作りの実習例が多く, 生徒の実態に合わせて選べるとともに, 幼児の年齢ごとに配列がしてあり, 発達段階に応じたおもちゃの製作ができるよう工夫されている。(p38-40)</p>	<p>・爪見出しが内容ごとに写真と名称で示してあり, 学習している内容が分かるように工夫されている。(p81, 175)</p>	<p>・写真や図表, 本文の量のバランスが適切で効果的に配置されており, 生徒が理解しやすい工夫がなされている。</p> <p>・基礎的・基本的な内容を習得できるよう精選してあり, 学習を深める課題などが示されている。さらに, 学習を発展させる内容が多く盛り込まれるなどの工夫がなされている。</p>